

月	旬	作業	薬剤名	ハチ 日数	濃度・使用量	出荷前日 数	対象病害虫
5月	上旬	播種・育苗	D-D92・テロン92		15~20ℓ/10a	作付け10 ~15日前	ネコブセンチュウ・ネグサレセンチュウ ネコブセンチュウ・ネグサレセンチュウ・萎凋病 ネキリムシ・センチュウ類
		土壌消毒(消毒剤は1剤を選択)	ソイリン・ダブルストッパー		30ℓ/10a(1穴当り3ml)		
		土壌還元消毒	クロールピクリン・クロピクフロー		1穴当り 20~30ℓ 2~3ml /10a		
	中旬	定植	バスアミド微粒剤		200~300g/立方m	定植21日前	苗立枯病(リゾトニア菌)
		土壌還元消毒	フスマ		1000kg/10a		
		ベツト作成	ネマキック粒剤	10	15~20kg/10a		
下旬		アルバリン粒剤	10	2g/株(植穴処理)	定植時	アブラムシ類・コナジラミ類・ハモグリバエ類	
		アフーム乳剤	2	2000			
		ベストガード水溶剤	10	1000			
6月	上旬	マルハナバチ導入	アミスターオプティフロアブル	1	1000	7日前	葉かび病・疫病・灰色かび病
	中旬		ランマンフロアブル	0	1000~2000	前日	疫病
	下旬	収穫開始	バリアード顆粒水和剤	1	4000	前日	アブラムシ類・コナジラミ類
7月	上旬	ホリバー	☆エコピタ液剤	0	100	前日	アブラムシ類、コナジラミ類、ハダニ類、うどんこ病
	中旬	ラノーテープ	アフェットフロアブル	0	2000	前日	葉かび病・灰色かび病・菌核病
	下旬		ディアナSC	1	2500	前日	アザミウマ類・ハモグリバエ類・ハスモンヨトウ
8月	上旬		ベトファイター顆粒水和剤	0	2000	前日	疫病
	中旬		ロブラール水和剤	1	1000~1500	前日	灰色かび病・輪紋病・斑点病
	下旬		コロマイト乳剤	1	1500	前日	コナジラミ類・ハモグリバエ類・トマトサビダニ
9月	上旬		ゲッター水和剤	1	1500	前日	灰色かび病・菌核病・葉かび病
	中旬		ベネビアOD	1	2000	前日	アザミウマ類・ハモグリバエ類・ハモグリバエ類
	下旬		ファンタジスタ顆粒水和剤	1	2000~3000	前日	葉かび病
10月	上旬		アニキ乳剤	1	1000~2000	前日	ハモグリバエ・オオタバコガ・コナジラミ類
	中旬		ペルクート水和剤	0	6000	前日	葉かび病・灰色かび病
	下旬		ウララDF	1	4000	前日	アブラムシ類・コナジラミ類
11月	上旬		ホライズンドライフロアブル	0	2500	前日	葉かび病・疫病
	中旬		フェニックス顆粒水和剤	1	2000~4000	前日	オオタバコガ・ハスモンヨトウ
	下旬		ザンプロDMフロアブル	1	1500	前日	疫病
12月	上旬		☆エコピタ液剤	0	100	前日	アブラムシ類・コナジラミ類・ハダニ類・うどんこ病
	中旬		ベトファイター顆粒水和剤	0	2000	前日	疫病
	下旬		アニキ乳剤	1	1000~2000	前日	ハモグリバエ類・コナジラミ類・ハスモンヨトウ
1月	上旬		ゲッター水和剤	1	1500	前日	灰色かび病・菌核病・葉かび病
	中旬		モスピラン顆粒水溶剤	1	2000	前日	アブラムシ類・コナジラミ類
	下旬		ロブラール水和剤	1	1000~1500	前日	灰色かび病・輪紋病・斑点病

オンシツコナジラミ・タバココナジラミ

ハモグリバエ・アザミウマ

オオタバコガ・ヨトウムシ

葉かび病・斑点病

灰色かび病

疫病

トマト黄化葉巻病

病害虫の発生状況により下記の薬剤より選択。 ※注意：化学成分使用回数が35回を超えないよう十分注意すること。

コナジラミ類：アルバリン顆粒水溶剤(2000~3000倍・前日・2回)、チェス顆粒水和剤(5000倍・前日・3回)、ウララDF(2000倍・前日・3回)、ベネビアOD(2000倍・前日・3回)
アドマイヤー顆粒水和剤(5000~10000倍・前日・2回)、アニキ乳剤(1000~2000倍・前日・3回)、コルト顆粒水和剤(4000倍・前日・3回)

ハモグリバエ：プレオフロアブル(1000倍・前日・2回)、トリガード液剤(1000倍・前日・2回)、カスケード乳剤(2000~4000倍・前日・2回)
☆スピノエース顆粒水和剤(5000倍・前日・2回)、ダントツ水溶剤(2000倍・前日・3回)

ヨトウムシ類：フェニックス顆粒水和剤(2000~4000倍・前日・2回)、☆エスマルクDF(1000倍・前日・制限なし)、☆デルフィン顆粒水和剤(1000倍・前日・制限なし)

オオタバコガ：プレバソフフロアブル(2000倍・前日・3回)、フェニックス顆粒水和剤(2000倍~4000倍・前日・2回)、アフーム乳剤(2000倍・前日・5回)
☆スピノエース顆粒水和剤(5000倍・前日・2回)

アブラムシ類：☆プリファード水和剤(1000倍・前日・制限なし)、☆粘着くん液剤(100倍・前日・制限なし)

アザミウマ類：マッチ乳剤《2000~3000倍・前日・2回(ミカンキイロ)》、コテツフロアブル(2000倍・前日・3回)、アーデント水和剤(1000倍・前日・2回)
☆スピノエース顆粒水和剤(5000倍・前日・2回)
ベネビアOD(2000倍・前日・3回) ⊕ ストロビルリン系薬剤を含む農薬を散布した場合には、散布後2週間以上間隔を開けて本剤を使用して下さい。

ハダニ類：マイトコーネフロアブル(1000倍・前日・1回) ☆サフオイル乳剤(300倍・前日・制限なし)

葉かび病：《トリフミン水和剤(3000倍・前日・5回)、トリフミンジェット(400㎡当たり50g・前日・5回)【パンチョと合わせて5回】》、ペルクート水和剤(6000倍・前日・2回)
《ホライズンドライフロアブル(2500倍・前日・3回)【ベトファイター顆粒水溶剤と合わせて3回】》、カンタスドライフロアブル(1000~1500倍・前日・3回)
《アミスターオプティフロアブル(1000倍・7日・2回、ダコニール1000(1000倍・前日・2回)【プロポーズ顆粒水和剤と合わせて2回】》
ファンタジスタ顆粒水和剤(2000~3000倍・前日・3回)、サンヨール(500倍・前日・4回)、☆カリグリーン(800倍・前日・制限なし)

うどんこ病：パンチョTF顆粒水和剤(2000倍・前日・2回)、☆カリグリーン(800倍・前日・制限なし)、☆ハーモメイト水溶剤(1000倍・前日・制限なし)

灰色かび病：☆ボトキラー水和剤(ダクト内投入10~15g/10a/日・発病前~発病初期・制限なし)、トップジンM水和剤(1500~2000倍・前日・5日)
ロブラールくん煙剤(300~400㎡当たり・100g・前日・3回以内)、フルピカフロアブル(2000倍・前日・4回)、ペンレート水和剤(2000倍・前日・3回)
ファンタジスタ顆粒水和剤(2000~3000倍・前日・3回)、パレード20フロアブル(2000倍・前日・3回)、セイビアフロアブル(1000倍・前日・3回)

軟腐病：☆コサイドDF(1000倍・制限なし・制限なし)

疫病：☆Zボルドー(500倍・制限なし・制限なし)、ペンコゼブフロアブル(1000倍・前日・2回)、ライメイフロアブル(2000倍・前日・4回)、ランマンフロアブル(1000~2000倍・前日・4回)
ピシロックフロアブル(1000倍・前日・3回)、《ザンプロDMフロアブル(1500倍・前日・3回)、フェスティバルC水和剤(600~800倍・前日・3回)【2薬剤合計で3回まで】》
《ベトファイター顆粒水和剤(2000倍・前日・3回)、プロポーズ顆粒水和剤(1500倍・前日・2回)【2薬剤合計で3回まで】》

※黄色粘着板(ホリバー等) 《10a当り200枚》を必ず使用。 ※☆印は天然系農薬で化学合成農薬ではありません。
※ネコブセンチュウ対策に、ガードホープ液剤を使用して下さい。《4000倍/10a・500ml・前日1回》